

地域教育  
情報紙 (29年度)  
第6号

# 颯とあそび

平成30年2月27日発行  
《担当》 富士・東部教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
大石 太・上田 司・長田 茂

『颯とあそび』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

## 地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841

## 特別支援教育体制強化事業 !!

### 第2回東部地区特別支援連携協議会ならびに やまびこ支援学校公開研究会

東部地区特別支援連携協議会(会長：藤川健やまびこ支援学校長)では、2月16日(金)に第2回目の会合を、やまびこ支援学校において開催しました。東部地区特別支援連携協議会はやまびこ支援学校が中心となって山梨県東部地区(大月市、都留市、上野原市、丹波山村、小菅村、道志村)の教育、保健、福祉の関係機関の皆様にお集まりいただき、運営を行っています。およそ30名の委員の方々に参加していただき、共生社会構築に向けての各市村の取り組みや課題について情報交換を行う良い機会となっています。また、当日は、平成29年度公開研究会が東部地区の教育関係者と同校教職員も参加し行われました。やまびこ支援学校は、平成29・

30年度の県教育委員会「インクルーシブ教育システム構築に向けた実践的研究事業」の研究

指定校となっており、1年次の研究概要の中間報告および各研究グループ概要の中間報告、自作教材教具展示がありました。県教育委員会主幹・指導主事 相山洋幸先生、都留文科大学 堤英俊先生より指導助言を頂き、実りのある研究会となりました。次年度(2年次)は本年度(1年次)の内容を活用しながら、「合理的配慮」を活かした研究実践を行う予定です。



## 地域の青少年支援を目指すネットワークづくり!!

### 南北都留教育相談ネットワーク会議



南北都留地域推進連絡協議会では、平成30年2月7日(水)に「第3回南北都留教育相談ネットワーク会議」を、南都留合同庁舎大会議室において開催しました。今回は、ふじざくら支援学校地域支援部と、富士・東部教育事務所スクールソーシャルワーカー(SSW)からの業務説明と事例発表をもとに、研究協議が行われました。

実践発表では、ふじざくら支援学校のセンター的機能における教育相談や訪問支援・研究支援等の地域支援活動の報告に続いて、具体的な相談事例を用いて、発達障害や不登校の児童生徒への対応方法について説明されました。次に、富士・東部教育事務所からは、SSWの職務や連携する主な機関についての説明に続き、不登校児童・家庭に各機関と連携して支援を行った取り組みについて報告されました。支援前と支援後の各機関との関連をエコマップで説明され、きめ細かい対応の様子が分かりました。また、個人情報保護法についての情報も提供され、活発な意見交換がなされました。最後に次年度に向けた確認がされ、地域をはじめ各機関のネットワークの必要性を再確認する有意義な会議となりました。

## まなびの活用をめざした!!

### 山梨ことぶき勸学院 学習活動全体発表会



[北都留教室の発表]

山梨ことぶき勸学院では、1月26日(金)に学習活動全体発表会を開催しました。当日は、都留拠点の南都留教室・北都留教室を含む県内6つの教室に通う勸学院生がコラニー文化ホールに集い、各教室の代表者によって今年度の学習の成果や活動状況が発表されました。

南都留教室では、「水」をテーマとして、1年間にわたって教室全員で取り組んできた内容を発表しました。富士山の清らかな湧水を源として、地域を潤してきた桂川水系を4つに分け実地調査し、それぞれの地域の文化、産業に関わる歴史的意義と課題を「水」の恩恵という立場より発表しました。また、北都留教室では、「子ども達に伝えたい命のメッセージ」と題して、長寿の村として有名であった頃の桐原の食文化に注目して歴史を学び、さらには粟・稗・黍を栽培して長寿食を復元し、地域の小学校で調理をして子ども達に伝えるという活動を発表しました。

山梨ことぶき勸学院では3月13日(火)の卒業式をもって、今年度の活動を終了します。現在、来年度の受講者を募集しています。詳しい内容・問い合わせは、下記連絡先までお願いします。



[南都留教室の発表]

☆願書の配布・受付 富士・東部教育事務所  
☆問合せ先  
山梨県教育庁社会教育課成人・家庭教育担当 0555-23-1772  
または 富士・東部教育事務所内 都留拠点 0554-45-7335

## 幼児のための自然体験活動研究フォーラム



1月21日（日）都留文科大学にて、第2回山梨県幼児のための自然体験研究フォーラムが開催されました。（主催：フォーラム実行委員会・長生保育園・東桂保育園・青藍幼稚園 後援：都留市・都留文科大学・山梨県緑化推進機構）保育園・幼稚園・認定こども園での自然体験活動の実践交流、技術や考え方を研究する場として2016年より行われています。この日は、山梨県内外から約100名が参加しました。

午前中は、新潟県上越市森のようちえん てくてく園長の小菅江美氏による「保育・幼児教育の変革の時 今こそ子どもたちを森へ」の講演会がありました。「子どもたちは、環境がそろえば、様々な発想をする。森には人が用意する環境を遙かに上回るものがある。その教育力を使わない手はない。だからこそ子どもたちを森へ連れて行こう。」と話されました。

午後からは、「自然体験活動はじめの一步」「自然の中で幼児とかわる保育者の役割」「家庭と園のつなぎ方～保護者の疑問と保育者の思いをどうすり合わせていくか～」「山梨県内の森のようちえんの実践」の4分科会が行われました。

分科会後には、「幼児期における自然体験活動をもっと広めて行くにはどうしたらよいか。」など分科会で出された疑問をもとにパネルディスカッションが行われました。最後には、「来年度は都留市以外の園の実践発表もしましょう。」との呼びかけがありました。参加者にとって多くの学びがある、とても有意義な一日となりました。

## 富士吉田市ファミリー・サポート・センター

24 時間講習

## 「保育の心」



1月24日（水）に、富士吉田市福祉ホール・子育て支援センターにおいて、山梨県立大学 教育・保健実践センター顧問 池田政子先生を講師に迎え、「地域の子育てに 私たちができること」と題しての講習会が開催されました。

講習会は、現在の子育て状況や課題についてのワークショップ形式の参加型で行われました。Part1 の「子育て支援が目指すこと」では、ペアゲームを取り入れながら、「自尊感情」「自己肯定感」をキーワードに現在の子どもの状況を把握し、子育て支援が目指すことを再確認しました。

Part2 の「支援者としての自分を考える」では、「子どもにとっての支援者とは」、「支援者として親をどう見るか」について、否定的表現を肯定的表現にするとどのようにイメージが変わるかなどのワークを取り入れながら学びました。Part3 は「心をつなぐコミュニケーション」についてでした。ここでも、相手の気持ちを受け止め、自分の気持ちを伝えることの大切さをペアでのワークを通して学びました。

笑顔あり、笑いありと和やかな雰囲気の中で、意見を出し合い、考え、学び合うことができました。

## 明日を拓き、未来を創る !!

# 富士北稜高等学校 第11回生徒発表会

富士北稜高等学校(渡邊信介校長)では、2月10日(土)に「第11回生徒発表会」を開催しました。

午前の部では、1年次生は「職業人調べ」「ライフデザイン」、2年次生は「かえる組 ふるさと納税返礼品カード・地域を読んだカルタづくり」、3年次生は「かえる組 はた織り PR 動画」について、



それぞれの年次代表が発表。午後の部では、6つの系列の代表が今年1年間の学習や活動の成果を発表しました。それぞれの系列の特性を生かした専門性の高い、生徒の興味・関心に基づく、創意工夫された内容でした。また、教室には各系列と文化部の作品が展示され、参加者は展示物一つ一つに感心しながら見学をしていました。各系列の発表内容は次のとおりです。



福祉健康系列

『福祉健康系列で学んだこと ～地域で共に生きるために～』

建築デザイン系列

『デザイン思考による課題解決の提案』

情報系列・ビジネス系列

『課題研究での取り組み』～地域を知る・富士吉田市を知る～

電気情報系列

『電気情報オムニバス』

教養系列

『身近な疑問に対する探究』

機械テクノロジー系列

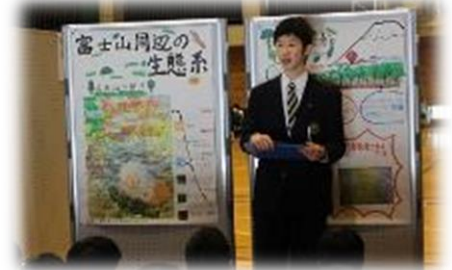
『チャレンジ2017』～地域の「ものづくり」産業を支えるエンジニアを目指して～

## 吉田高等学校 第2学年 「富士山学」研究発表会



吉田高等学校(高保裕樹校長)では、2月7日(水)体育館アリーナで2学年「富士山学」の研究発表会が行われました。同校では、平成13年度より「富士山学」を通して、富士山の自然・環境、歴史・文化、防災、産業、芸術など多角的に学びながら、主体的に課題を発見させ、地域に提案していく人材の育成に取り組んでいます。今回は各分野から選ばれた16グループが研究発表を行いました。ポスターセッションということもあり、ただ発表するのではなく発表者はプレゼンテーションの方法について創意工夫をしていました。

また、発表資料もわかりやすくレイアウトしてありました。生徒の発表はクイズ形式にして演出を考えたり、全員参加型の班もありました。富士山学に関わって下さった富士山レンジャーの皆様や(株)合力様、保護者の皆様、教育機関の方など多くの皆様が生徒の発表を聞いて下さいました。吉田高校の「富士山学」は吉田高校でしか学べない魅力的な学びです。



## グローバル・リーダーの育成 富士北麓地域から世界へ！！

### 富士河口湖高等学校 SGH アソシエイト 成果発表会

富士河口湖高等学校（田口尚弥校長）は、文部科学省よりSGH（スーパーグローバルハイスクール）アソシエイトとして指定を受け3年目を迎えました。1月24日（水）には、課題研究の成果発表会を開催しました。

当日は、1年生が総合的な学習の時間の取り組みについて発表。総合的な学習では、国際的な社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決能力等を身につけ、将来国際的に活躍できる人材（グローバル・リーダー）の育成に取り組んでいます。4月に地域の課題（テーマ）について①安全防災②人口減少③富士西麓活性化④環境保全⑤国際交流⑥観光振興⑦文化教育⑧社会福祉の8グループに分かれ、それぞれを4～5つの班を編成し、探究学習を開始しました。

成果発表会では、それぞれの班から課題設定の理由、その解決方法、提案（まとめ）、今後の課題を発表。フィールドワークを通じて得た情報やデータをクイズ形式や寸劇を取り入れて発表し、いずれの班も工夫を凝らしていました。発表後には多くの意見が活発に出され、充実した発表会でした。

今年度得られた成果を活かし、今後もさらに一歩進んだ研究を継続していきます。



## 時代を切り開く私たちの力！！

### 都留興譲館高等学校

### 「教育実践公開発表会」

都留興譲館高等学校（中山真男校長）では、2月16日（金）に都留市都の杜うぐいすホールにおいて「平成29年度教育実践公開発表会」を開催しました。

当日は、1・2学年と英語理数科が教育実践発表を、そして工業科の3年生が、専門課程で学んできた内容をもとに、1年間取り組んできた課題研究の成果を発表しました。開会式の中で校長先生から「教育実践公開発表会に向けての取組は、基礎力・思考力・実践力を育むのに絶好の機会だと捉えています。」とのお話がありました。この

後行われた発表は、それぞれの学科の特性を生かした専門性の高い内容であるとともに、動画の活用など質の高いプレゼンテーションは見応えがあるものでした。また、会場のロビーでは、生徒の作品が展示され、日頃の生徒と先生方の取り組みの成果を拝見することができました。当日の発表内容は次のとおりです。



「環境工学科 「実験！コンクリートの特徴・性質を調べる」

#### 教育実践発表

- 1 学年 「企業実習体験発表」
- 2 学年 「第2 学年 修学旅行 In Okinawa」
- 英語理数科 「プレゼン力を磨く」

#### 課題研究発表

- 電子工学科 「Arduino 徹底活用」
- 制御工学科 「エフェクター・シンセサイザーの製作」
- 環境工学科 「実験！コンクリートの特徴・性質を調べる」  
「宝石の合成とシルバーアクセサリーの製作」
- 機械工学科 「「ロボコンやまなし2017」に出場して」

## 都留高等学校

# 「都留高探究プロジェクト（つるたん）発表会」



都留高等学校（小俣岳校長）では、2月16日（金）に「都留高探究プロジェクト（つるたん）発表会」を開催しました。「つるたん」とは、都留高独自の課題研究・探究活動プログラムであり、グループごとに設定したテーマについて、1年間取り組んできた研究成果を発表することで、自らの課題研究についてのまとめと反省をおこない、プレゼンテーション能力を涵養する取り組みです。また、他の生徒の課題研究について知り、評価することを通じて、来年度の活動への参考とすることも目的としています。

当日は、文系・理系併せて15カテゴリーに分かれ、先輩から引き継いだ研究や、学校や地域の特色を活かした研究成果などを発表しました。発表後には積極的に意見交換が行われ、充実した発表会となりました。

また、各カテゴリーの代表による『都留高探究プロジェクト（つるたん）』成果全体発表会は次のとおりです。

### 《「平成29年度「都留高探究プロジェクト（つるたん）」成果全体発表会 開催》

1. 日 時 平成30年3月14日（水） 10:50～16:05
2. 場 所 都留高等学校 体育館3Fアリーナ・2F格技場
3. 発表会次第  
10:50～12:25 開会式及び研究発表（前半）  
12:25～13:20 昼休み及びポスター発表  
13:30～14:45 研究発表（後半）  
14:50～15:00 閉会式（審査結果発表及び表彰）  
15:05～16:05 座談会 村岡美枝さん（翻訳家）・村岡恵理さん（作家）・小俣岳校長

## ～平成30年度 北都留地域教育推進連絡協議会「明日の風」のお知らせ～

### 「シオジ森の学校オープンキャンパス」

1. 日 時 平成30年4月15日（日）午後1時30分～
2. 場 所 大月市民会館4階視聴覚室
3. 内 容 ・シオジ森の学校講座の紹介 ・ミニコンサート ・森のクラフト等

### 「～より速く より高く より強く～ 第1回 アスリート実技講習会」

1. 日 時 平成30年5月12日（土）午前9時～
2. 場 所 大月市営陸上競技場（雨天 勤労体育館）

## 来年度の地推協主要事業の予定

北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）および南都留地域教育推進連絡協議会の平成30年度主要行事予定は次のとおりです。詳細については、改めてお知らせします。

- 北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）総会・教育講演会  
平成30年7月5日（木） 受付開始：午後1時 会場：大月市立図書館 2階ホール
- 南都留地域教育推進連絡協議会総会・講演会  
平成30年6月20日（水） 開始：午後2時 会場：富士ふれあいセンター
- 南都留地域教育フォーラム  
平成30年11月2日（金） 開始：午後1時30分 会場：下吉田第二小学校